

高城町出身の作者・小牧正美（1910～1995）は、1923年に当時日本の植民地であった朝鮮半島へ渡り、京城師範学校を卒業。現地で教員として美術を教えながら、朝鮮美術展に入選するなど制作活動を続けました。第二次世界大戦終結後は、約20年過ごした朝鮮半島から引き揚げると、教育や制作活動からは距離を置き、1959年から都城市内で文具店を営みました。

ボートが並ぶ浜辺と穏やかな海を描いた本作。巧みな筆致で静かな水面と力強い岩場の対比を捉えています。戦後は制作活動から距離を置いたものの、本作品を生涯身近に置いていたことは、小牧にとって芸術が人生の支えであり続けたことを物語っています。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

History exploration |

歴史探訪！

斧の輝き、蛇の如し (中尾山・馬渡遺跡出土蛇紋岩石斧)

縄文時代の都城盆地では、人々の暮らしが盛んに営まれていました。今回は、昭和61年に横市市民広場を整備した際に行った中尾山・馬渡遺跡の発掘調査で出土した縄文時代の石斧を紹介します。

本資料は、約3千年前の縄文時代の終わり頃に使われたものと考えられていて、蛇紋岩と呼ばれる石が使われています。蛇紋岩は名前の通り表面に蛇のような緑色に輝くまだら模様が見られる石で、比較的軟らかくて加工しやすいという特性から、当時は樹木を伐採し、加工する道具として利用されていたと考えられています。しかし、蛇紋岩は利用しやすく美しい反面、産地が県内では五ヶ瀬町周辺など県北に限られることから、本市を含め周辺の市町でも出土例は多くありません。縄文時代の都城にも広域的な流通があったことがうかがえる貴重な資料です。

本資料は、都城歴史資料館常設展で展示中。巳年の締めくくりに、ぜひ来館ください。

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547



中尾山・馬渡遺跡出土蛇紋岩石斧

「海岸風景」 小牧 正美 作 （制作年不詳）



物産品相互取扱いに関する協定締結式

大正7年に創業し、100年以上にわたり地域とともに歩み続けてきた宮崎第一信用金庫。都城信用金庫、南郷信用金庫との合併を経て、より強固な支援体制を整えています。地元の中小企業や住民が会員となり運営する、相互扶助型を特徴とする同金庫。「地域に支えられる金融機関だからこそ、地域の発展なくして当金庫の発展はない」と話すのは、上之弘文専務理事です。昭和53年に旧都城信用金庫に入庫後、本店長や営業推進部長などを歴任した上之専務理事は現在、都城地区本部長とし

て、エリア内9店舗を管理しています。同金庫では、困ったときの相談役として、お客様に寄り添った課題解決型の営業を徹底。営業時代、急ぎの大口融資の相談を受けた上之専務理事は「お客様の熱意に応えたい一心で、2営業日で承認までこぎつけました。今でも会うたび感謝の言葉をいただきます」と目を細めます。50年以上続く異業種交流会「信ちゃん会」も絆を大切にする同金庫ならではの、勉強会や交流会を通して業種を超えた信頼の輪を広げ、互いを支え合うつながりを築いています。さらに、平成27年から始まった同金庫と北海道の北空知信用金庫の物産交流をきっかけに、今年10月に本市と深川市が物産品相互取扱協定を締結。南と北の信金の絆が、遠く離れた地域を結ぶ架け橋となりました。今後も共存共栄の理念を掲げ、お客様の課題解決に伴走者として寄り添い、地域の未来を信頼でつなぎます。

都城をけん引する企業を紹介

企業の力

Vol.63

宮崎第一信用金庫
都城営業部

☎23-2881



専務理事 上之弘文さん

今月の読者プレゼント



キャンプ専用焼酎「ゆらり。」 3人

プレゼント提供事業者

あんどう酒店(山田町中霧島3162-1) ☎64-2012

選び抜いた酒を揃える同店がキャンパーと共に作った、たき火に映えるキャンプ専用焼酎「ゆらり。」をプレゼント。原料、造り手、デザイン全てを都城産で仕上げた、フルーティーで香り高く、優しい味わいの1本です。

プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、12月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 12月31日(水) 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙2月号
- ◎10月号当選者 ゆーさん ほか4人
- ◎10月号応募総数 63通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

お待ちしております！ 読者のお便り

郵便はがきにこの面を貼り付けて、宛名面に次のとおり記載の上、郵送ください。

宛先

郵便番号 885-8555
都城市役所秘書広報課 行
※住所の記載は不要

送付者情報

- ①氏名、②フリガナ、
- ③ペンネームまたはイニシャル、
- ④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号

▶点線に沿ってお切りください

私の夢

川野 晃汰さん 高崎小6年

地球温暖化を止めるためにさまざまな
元素を研究する科学者になりたい



都 城 市 現 住 人 口			
令和7年11月1日現在	前 月 比	前 年 比	スマートフォンからも統計情報を確認できます。
世 帯 数	74,196 世帯	53	452
人口総数	159,088 人	74	-431
男 性	74,958 人	63	-138
女 性	84,130 人	11	-293

※令和2年国勢調査に基づく推計人口



「肉と焼酎のふるさとみやこんじょ花火大会」(高城町石山)

編集後記

普段は晩酌しない私ですが、焼酎特集の取材を通して焼酎の世界にすっかり興味津々に。蔵ごとの特徴や味わいなどの違いを知ると、自分に合う一本を探したくなりました。皆さんも、ぜひ都城の焼酎で自分だけのお気に入りを見つけてみてください。(紘)

焼酎特集の取材では、原料に関わる人たちや蔵元、酒屋さんなど、一杯の焼酎に携わる人たちの努力や思いを垣間見ました。都城にとって「焼酎」は大切な産業であり、誇るべき文化であることを読者の皆さんに少しでも伝えられていたらうれしいです。(つ)

都城フィロソフィ⑭

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第2部 素晴らしい都城市とするために

第1章 一人ひとりが都城市役所

傾聴と共感が改善を生む

人と接するときには、積極的に相手の話を聞く傾聴の精神を持つことが重要です。相手の意図をくみ取り、相手が何を望んでいるかを知ることからコミュニケーションが始まります。

相手が考えの異なった主張をしても、一刀両断に切り捨てることなく、相手に共感しその考えを理解することで、新たな視点から物事を見つめ直すことができるようになり、さまざまな改善のヒントを得ることができます。

また、相手が意見を述べてくれることに感謝することは、互いの信頼関係を築くことにもつながります。傾聴と共感とは、組織としても個人としても、成長する良いきっかけを生み出します。

届けたい都城の風景

10月19日に開催された焼肉カーニバル。フィナーレを飾る花火大会では、日本有数の花火大会である大曲の花火はさることながら、市内事業者の花火も負けじと会場を盛り上げていたことが印象深く、記憶に残りました。会場にいた全員が一樣に空を見上げ、同じ景色を共有する時間は、振り返るととても貴重なひとときだったように感じられます。

【撮影データ】
デジタルカメラ レンズ14～24mm・F2.8、4秒 F11 焦点距離18mm ISO250
※比較明合成有



「**興玉神社**」が賑わう年に一度の**大イベント**！
古事記や日本書紀に描かれた日本発祥にまつわる日向神話の舞台である本県には、多くの伝説や伝統文化、史跡などが残されています。
市内では、中郷地区の興玉神社で、例年12月に高千穂町に伝わる国指定重要無形民俗文化財「高千穂神楽」を奉納する「都城興玉神社夜神楽大祭」が行われています。

【都城興玉神社夜神楽大祭】
●日時 12月13日(土)
16時～20時
●場所 興玉神社(安久町2955)
※中郷地区市民センターと旧JA都城安久支店からの臨時シャトルバス(無料)を利用ください
問 中郷商工会青年部 ☎39-0334

今年で11回目を迎える同イベントでは、高千穂町の秋元神楽保存会の神楽をはじめ、中郷中学校の吹奏楽部や石井流家元による津軽三味線、南州太鼓の演奏、正調安久節保存会によるヤッサ節などが披露され、毎年多くの人で賑わいます。このほか、当日限定で発行される御朱印や、和風ハンドメイド雑貨の出店が並ぶ御神渡り市、フィナーレを彩る打ち上げ花火など、内容盛りだくさん。歴史ある神社で行われる一夜限りのイベントに、足を運んでみませんか。



観光地や遊び場、イベント、グルメスポットなど、市内で楽しめる場所・モノ・コトを紹介！

興玉神社夜神楽大祭で幸せ上々

◎問い合わせ みやこんじょ PR課 ☎23-2615



新刊紹介

おすすめ**図書** ◎問い合わせ
市立図書館 ☎22-0239
高城図書館 ☎58-4224



はじめてのクリスマス
マック・バーネット(文)、シドニー・スミス(絵)、偕成社(出版)
.....
せっかくのクリスマスなのに、プレゼントを配ったサンタは、翌日からまたおもちゃ作り。エルフたちはサンタのためにある相談を始めて…。



世界自炊紀行
山口祐加(著)、晶文社(出版)
.....
「自炊に悩むのは日本人だけ？」自炊料理研究家が世界12カ国38家庭を取材。その土地ならではの文化や環境、調味料、名もなき料理など、さまざまな料理観をまとめた一冊です。

【市立図書館】●休館日／12月29日～1月3日
●開館時間／9:00～21:00

【高城図書館】●休館日／12月2日・9日・16日・21日・23日・28日～31日、1月1日～4日・6日・12日・13日
●開館時間／9:30～18:00

今月のみやこんじょ弁



背景
だれ(疲れ)を止めるという意味で、一日の疲労を焼酎などのお酒で癒すこと。だいやめとも言う。
※方言は市内でも地域や年齢によって異なります
参考文献 瀬戸山計佐儀著「都城さつま方言辞典」

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174